

- 2 施設の食事を作っています!
- 3 「おいしい!」の理由はここにあり!
- 4 活動報告・お知らせ

布をめぐるワーカーズ・コレクティブの物語

装いの喜び、人と人をつなぐ力、心を込めた丁寧な仕事が人の心も癒す。
洋裁の世界にもワーカーズ・コレクティブらしいもの作りの姿勢が光ります。



上: 手作り工房
せきぐち

左: 教室の生徒
さんの着物を
リフォームし
た作品

右下: 人気の小物

「地域のお針箱」いと 世界に一つだけの服がつなく地域への思い

ワーカーズ・コレクティブ リフォームいと
草加市高砂2-18-39-302
Tel/fax 048-927-7714

1992年「使い捨て文化を見直す」ことを信条に、「糸と針で作る物なら何でもやる」をモットーにスタートしました。ボタン付け一つから洋服のオーダーまで受けています。

着物から自分だけのオリジナルの洋服に作り直す注文が特に好評です。常連のお客様が「いと」で作った服を着て入ったお店で話が弾み、店主に「いと」を紹介してくださることもあります。自由が丘の「手作り工房せきぐち」との仕事はそのようなきっかけで始まりました。小物を毎月納品し、他にも店で販売する服やお直しも受けています。

地域のブティック4軒からの寸法直しも心を込めて縫製します。お客様の縫いたいものを教える教室でも丁寧な作業を伝えます。地域の人に支えられて今の「いと」があります。
堀 美紀子

「見つけるトビラ」紬カフェ 訪れる度に見つかる何か

ワーカーズ・コレクティブ紬
志木市本町5-7-15-101
tel 070-6433-5715

ミシンカフェを始めたきっかけの一つは、知り合いが保有していた沢山の生地を皆で見せてもらった時のこと。この生地ならスカートだパンツだワンピースだとびっくりするほどその場のテンションが上がり、布には創造力を掻き立てる力があるのだと実感したことです。

紬カフェでは自分だけのオリジナルを創る喜びを第一に、手間を惜しまず丁寧に進めることの大切さを皆さんにアドバイスしています。紬カフェは開店以来、多くの方がリピーターとなり、口コミでも増え、近頃では足りないミシンや作業台をお客さんが譲り合って使われています。

地域の居場所として、紬に関わる皆さんがそれぞれ何か「トビラ」を発見して、それをつなげる輪がひろがり、多くの人々の心に響くことを願い、誠実に仕事をしていきたいと思っています。
清水 悦子



ミシンカフェ紬

自作の服で集まった
4周年祝い

